

さらに力を注いでまいります
 社会の構築へ向けた取り組みにも、
 変革を機に、持続可能な



代表取締役社長 兼 CEO 兼 COO

竹林義孝

地球環境と共に生きる企業として

三井金属グループは、鉱物資源という地球の恵みを広く社会に活かすことで礎を築き、さまざまな可能性を切り拓いてきた会社です。常に地球環境と共にあり、これからもその恵みを社会のために役立てたいと強く願う三井金属グループは、今、幅広い事業活動を通して、持続可能な社会の構築へ向けた取り組みを行っています。

たとえば、省エネルギー・小型化が進む電子機器に重要な原材料を提供しています。自動車メーカーと共同開発した触媒は、優れた排ガス浄化性能で世界から注目されています。また、都市鉱山ともいわれる廃棄物の中から有価金属を回収するリサイクル事業にも力を注いでいます。

三井金属グループは製錬事業などにより電力やコークスなどのエネルギーを多く使用しています。CO₂の削減、廃棄物や環境汚染物質の削減は、三井金属グループにとって最も重要な課題であり、グループをあげて削減に取り組んでいます。

Top Message



次代が求める事業構造へ変革を推進

世界的な不況が続く中、企業を取り巻く環境は極めて厳しいものがあり、かつてない変革が求められています。三井金属グループも例外ではありません。電子機器や自動車の世界的な需要減退の影響を受け、電子材料・自動車機能部品分野の見通しは不透明な状況が続いています。金属・環境分野においても市場の変化は予断を許しません。三井金属グループでは、2008年度から徹底した事業体制の見直しとスリム化を図り、強靱でしなやかな事業構造と企業体質への転換を進めています。

このような中において、リサイクル、エネルギー、環境といった分野はポテンシャルが高く、中長期的には大きな成長の可能性が期待できるものと考えています。三井金属グループでは、これら豊かな可能性を秘めた事業への研究開発には重点的に経営資源を投入するなど、将来を見据えた選択と集中を進めています。

環境活動を強化し、より信頼される企業へ

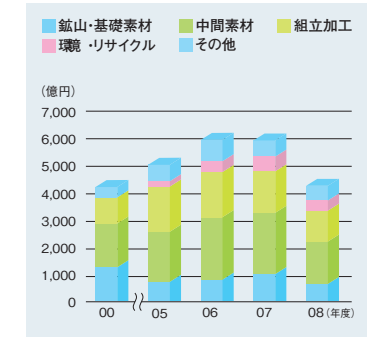
厳しい環境下であっても、環境保全への取り組みを低下させることは許されません。三井金属グループでは、事業構造の変革を機に、生産工程の見直しや資源の有効活用に取り組み、環境負荷低減をさらに進めた生産体制の構築に努めています。

安全や法令遵守の徹底にも力を注いでいます。コンプライアンスに関する教育や無事故・無災害を目指した活動、さらには地域社会との共生などに関して、これまで進めてきた組織や制度の整備を十分に機能させるとともに、社員一人ひとりの意識向上と実践を後押しする研修会等の実施にも引き続き力を入れてまいります。

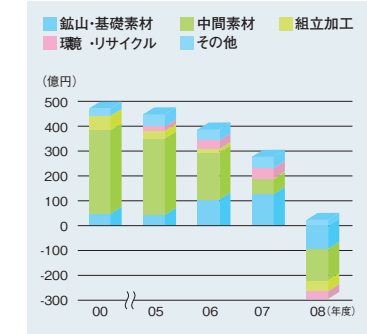
2008年度を振り返ってみますと、世界的不況による生産量の減少等もあり、CO₂や環境汚染物質の排出量は減少しましたが、エネルギー原単位のさらなる低減が重要だと考えています。また、事業構造の変革という早急に完遂しなければならない課題はありますが、環境に対する取り組みを力強く継続し続けることこそ企業の使命だと考えています。

社員一人ひとりが高い志を持ち続け、三井金属グループとして環境や社会への貢献に、より確かな成果をあげることができるよう一層努力してまいります。今後とも皆様のご支援とご協力をよろしくお願いたします。

売上高



営業利益



当期純利益

